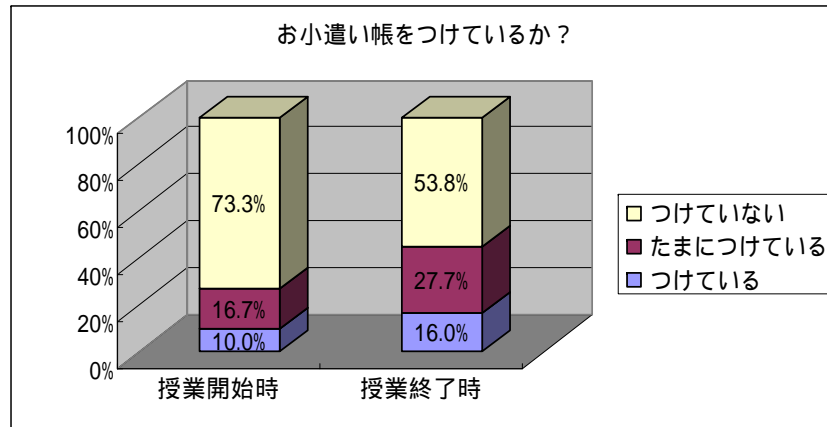
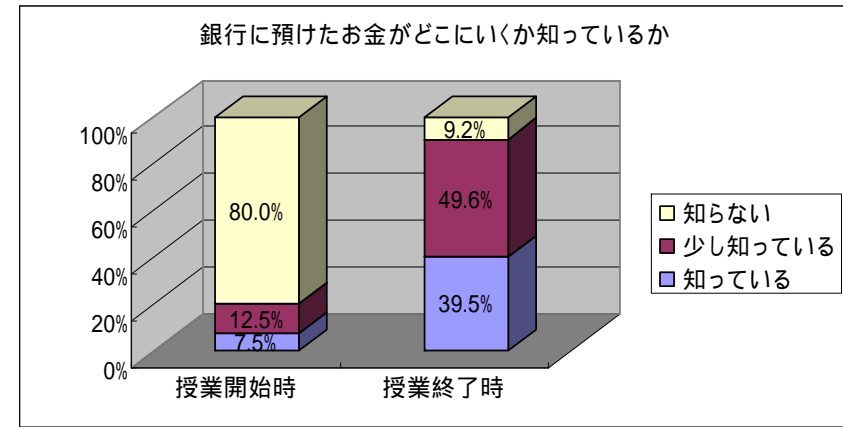


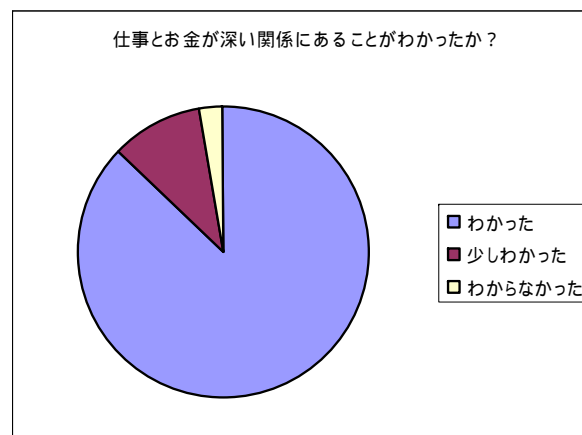
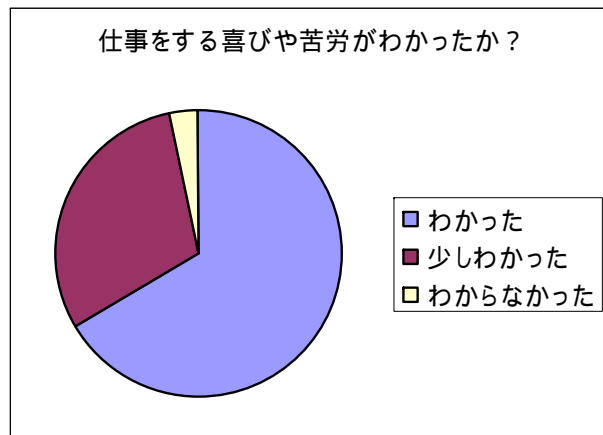
## アンケートから見る子どもたちの変化



学習前は「お小遣い帳をつけている」「たまにつけています」が26.7%でしたが、学習後は43.7%と増え、子どもたちがお金の大切さを理解し、しっかりと管理しようという意識が高まりました。



銀行に預けたお金が企業や個人に融資されていることなど、経済における金融の役割を学ぶことによって、経済や社会の仕組みに興味・関心を持つようになりました。



身の回りのおとなの人や地元を代表する産業界の方々から仕事の喜びや苦勞、お金との関わりについて聞き、働くことの意義、尊さを学びました。また、将来のこの地域で夢を実現していこうと考え始めた子どもたちも増えました。

## ● ● ● | アンケートに寄せられた子どもたちからの声

- ・この勉強をして、おこづかい帳をつけるようになりました。お金の勉強はとても楽しかったし、やくにたちました。
- ・おこづかい帳をつけるようになってからむだづかいがなくなったので、この勉強をやってよかったなと思いました。
- ・私は、お金の勉強をして、お金がどれだけ大切かがわかりました。前まではお金のことがあまり知らなくて、いらぬものを買っていたけれど、今はいるものといらないものが区別できるようになりました。
- ・お金の大切さをべんきょうして、ほしい物をぼんぼん買っていたぼくが、貯金するようになって、前にお母さんに、「お金の使い方が、とてもましになった。」と言われて、これからも、お金を、大切に、していきたいと、思った。
- ・買い物をするときにくら買えるか、何円あまるか考えるようになりました。
- ・楽しみながら勉強でき、お金のしくみや大切さを学ぶことができました。この学習をいかして、正しいお金の使い方をしながら生活していきたいと思います。
- ・お金が、生活・遊び・仕事・買い物にかかわっていることを、改めて細かく知ることができ、お金を大事に管理できるようになった。
- ・お金の大切さや、仕事についてよくわかったので、この勉強のことをいかして将来の仕事や生き方を決めたいと思いました。
- ・お金をどうやって使う、値段をどうやって決めるなど、大切ないろいろなことがわかりました。
- ・この勉強を1年くらいやって、お金についてのことが、よくわかりました。大人が働かないと、生活ができないということも実感しました。
- ・お金と自分の生活はとても重要な関わりがあるということがわかってよかったと思う。